

「鉄と鋼」論文誌活性化のお願い

溝口庄三 論文誌編集委員会 委員長

1 いきさつ

鉄鋼協会の論文誌・「鉄と鋼」とISIJ Int.は、協会の会員サービスとしてはもちろんのこと、対外的なアウトプットとしても、国内外に多大な貢献をしてきました。特に、「鉄と鋼」は、現在90巻を数えるように、輝かしく長い歴史があります。これもひとえに、先人のためまぬ努力によるものでありますが、将来に向かってさらに発展させることが後に続く者の使命であります。しかしながら、昨今の論文投稿状況は非常に低迷しており、このままでは100周年はおろか、当面の先行きに大きい暗雲が生じてきました。そこで、鉄鋼協会会員に現状を良くご理解いただき、一層のご協力を得るため、ここに具体的なお願いをする次第です。

2 現状

「鉄と鋼」は投稿数が長く低落傾向にあったが、2002年は特集号の発行やレビュー記事により増加しました。しかし、2003年には、特集号を除く一般投稿数が4件/月と激減しました。関係各位の努力により2004年に入り若干回復しましたが、このままでは今後の「鉄と鋼」の発行自体が危惧される事態となっております。

「鉄と鋼」投稿数の年別推移

	1998	1999	2000	2001	2002	2003
大学等	85	64	63	58	86	104
企業	92	75	70	62	107	60
合計	177	139	133	120	193	164

「鉄と鋼」一般論文投稿数（特集号を除く）の月別推移

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2002	13	5	10	13	15	11	6	12	6	13	10	3
2003	9	10	12	11	10	14	6	12	18	8	4	4
2004	10	5	10									

3 「鉄と鋼」活性化の具体策

別途、WGを設置して中長期ビジョンを検討しますが、緊急対策として、以下の具体策をお願いしたいと思いますので、皆様のご協力をお願い致します。もちろん、一般の自由投稿も歓迎します。

A. 「研究会」、「戦略研究」、「振興助成」、「部会活動」等の受賞者・参加者へのお願い

(1) 研究会（継続15件、新規7件）の活動報告

- ＊3年間の活動の終了報告として、特集号（論文集）を発行
- ＊中間期（1～2年後）に当該テーマの研究動向を調査したレビュー記事の投稿

(2) 戦略研究（継続中3件）、研究振興助成テーマ（継続中24件、新規27件）の終了報告

- ＊終了時に「ふえらむ」に簡易記事を掲載する他に、「鉄と鋼」に論文投稿

(3) 各学術部会のフォーラム活動報告

- ＊講演大会（一般講演（予告セッションを含む）・討論会・シンポジウム）、特別講演会等からのレビュー記事、特集号の発行

(4) 技術部会の活動報告

- ＊公開可能なテーマについては、現場技術報告や一般論文として「鉄と鋼」に投稿

B. 一般会員、大学教官へのお願い

(5) 講演大会「材料とプロセス」から、「鉄と鋼」への論文投稿

- ＊セッション座長・編集委員が一般報告から個別に推薦している

(6) 大学の卒業論文・修士論文の中から、「鉄と鋼」への論文投稿

- ＊6月号を新人特集号として、一挙に掲載することも可能

以上「鉄と鋼」の現状をご理解いただき、是非とも一層のご協力をお願いします。論文誌投稿規程・執筆要領は410頁をご覧ください。また、アンケート用紙を同封しておりますので、ご協力をお願いいたします。